

<参考資料>

2011年4月5日

(株)博報堂

(株)博報堂D Yメディアパートナーズ

**博報堂と博報堂D Yメディアパートナーズ、
アニメーションの企画・制作ノウハウでコンサルティングを行う新会社
「株式会社 STEVE N' STEVEN (スティーブンスティーブン)」を設立**

博報堂と博報堂D Yメディアパートナーズは、アニメーションの企画・制作ノウハウを用いたコミュニケーションコンサルティングを行う新会社「株式会社 STEVE N' STEVEN (スティーブンスティーブン)」を設立いたしましたので、お知らせいたします。

昨今のデジタルデバイスやソーシャルネットワークの発達により、生活者はお互いの情報発信を増やし、影響力を高めあっています。こうした生活者主導社会においては、送り手の都合を優先した従来型の広告は受け入れてもらえません。「共感市場」とも呼べる新しいマーケットにアプローチするためには、「顧客」を「観客」としてとらえるファンビジネスと、「観客」を「顧客」化するコミュニケーションビジネスの、相互のノウハウとその融合が必要とされます。

日本のアニメーションは、その表現力や物語構想力において世界から高い評価を受けているとともに、熱心なファンを数多く持つクリエイティブビジネスモデルです。今回設立する「株式会社 STEVE N' STEVEN (スティーブンスティーブン)」は、博報堂D Yグループがもつコミュニケーションビジネスのノウハウと、アニメーション業界がもつファンビジネスのノウハウを掛けあわせ、これからの共感市場に適応したクリエイティブモデルで、企業・社会のコミュニケーション課題の解決や未来構想に貢献していきます。

共同CEOに、博報堂クリエイティブディレクターの古田彰一と「攻殻機動隊 S.A.C.」「東のエデン」などの作品で知られるアニメーション映画監督の神山健治が就任いたします。また、日本アニメーション界のキーパーソンも協働し、さらに高い相乗効果を生み出します。

今後も博報堂と博報堂D Yメディアパートナーズは、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現するパートナーとして、あらゆる領域で高いクリエイティビティを発揮してまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社博報堂

広報室

小澤・西尾 TEL03-6441-6161

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ 広報グループ 加藤・山崎 TEL03-6441-9347

〈新会社の概要〉

- 会社名 : 株式会社 STEVE N' STEVEN (スティーブンスティーブン)
- 資本金 : 3000万円
- 出資比率 : 博報堂51%
博報堂D Yメディアパートナーズ32%
神山健治10%、他7%
- 設立 : 2011年4月1日
- 本社所在地 : 〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
- 従業員数 : 6名 (予定)
- 役員
 - ・代表取締役社長 共同CEO : 古田彰一 ※博報堂より出向
 - ・代表取締役 共同CEO : 神山健治
 - ・取締役 プロデューサー : 石井朋彦
 - ・取締役 (非常勤) : 渋谷道紀 ※博報堂執行役員
 - ・取締役 (非常勤) : 峯岸卓生 ※博報堂D Yメディアパートナーズ
- 事業内容
 - ・クリエイティブプランニング・制作
 - ・キャンペーンディレクション・プロデュース
 - ・商品開発、ソフトウェア開発コンサルティング
 - ・アカウントプランニング、ブランドコンサルティング
 - ・映画制作・プロデュース
 - ・エンターテインメントコンテンツ制作・出版

＜共同CEOプロフィール＞

■古田彰一 (ふるたしょういち) : クリエイティブディレクター

1967年5月1日生まれ。富山県出身。早稲田大学卒。1991年博報堂入社。コピーライターとして制作局配属。2006年よりクリエイティブディレクターとして、数々のキャンペーン・話題作を手掛ける。東京コピーライターズクラブTCC賞をはじめ、クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト、広告ギャラクシー賞、ニューヨークADC賞、広告批評年間ベスト、JR東日本交通広告賞金賞など、受賞多数。2008年からは博報堂アーキテクトにおいて執行役員・クリエイティブコンサルタントを務めた。

■神山健治 (かみやまけんじ) : アニメーション映画監督

1966年3月20日生まれ。埼玉県出身。Production I.G作品『人狼JIN-ROH』の制作中に、押井守監督が主宰した「押井塾」に参加。劇場版『ミニパト』(02)で初監督。『攻殻機動隊 S.A.C.』シリーズを監督し、現代社会を巡る様々な問題を深く掘り下げ、現実のネット社会にも影響を与える。DVDセールスは累計150万枚を超える大ヒット。続いてNHKのTVシリーズ『精霊の守り人』では、一般層・高齢層からも高い評価を得る。その後、原作・脚本・監督を務めたTVシリーズ『東のエデン』では、初の完全オリジナル作品として高視聴率をマーク。シリーズ続編にあたる劇場版2作も大ヒットを記録した。